

研究発表会若手優秀発表賞の受賞について

(公社) 日本地すべり学会

第 57 回研究発表会及び現地見学会実行委員会

事業計画部

本学会では、若手研究者の研究奨励の一環として、研究発表会において優れた発表を行った若手研究者を表彰する「若手優秀発表賞」制度を設けています。本制度に則り、第 57 回研究発表会新潟大会における若手研究者の発表に対して選考を行った結果、以下の方々の受賞が決定いたしました。受賞者には、新潟大会実行委員会から表彰状と副賞が授与されるほか、学会誌への投稿時の優遇措置*が授与されます。

【口頭発表部門】

鈴木真悟（一般財団法人 砂防・地すべり技術センター）

演 題：月山地区志津地すべりのすべり面形状について

連名者：相楽渉・高澤忠司・光永健男・窪田敏一・丸井英明

西口尚希（静岡大学大学院（現 日本工営株式会社））

演 題：地すべり監視への干渉 SAR 適用性の検証

連名者：今泉文寿

【ポスター発表部門】

井原潤（富山県立大学大学院）

演 題：西井川地すべり地における併用物理探査の適用

連名者：古谷元・大島魁晟・王功輝・末峯章

山崎稜太（富山県立大学大学院）

演 題：質点系ダンパーモデルに用いる粘性抵抗係数の算出に関する実験

連名者：古谷元・濱崎英作・丸井英明

山崎大輔（群馬大学大学院）

演 題：地震応答解析を用いたイラン・ケルマンシャー州の地すべり発生要因の推定

連名者：新島悠斗・若井明彦

■選考方法

対象となるのは、申込時に 35 歳以下の正会員で選考を希望する者の中から、実際に本人が規定時間に発表し、前年までに同賞を受賞していない者である。なおポスターと口頭は別の賞として扱う。対象となる候補者の発表について、実行委員会と事業計画部が選任した審査員により、講演要旨に基づく事前審査と当日の発表を対象とする当日審査の 2 段階に分けて審査を行った。審査員の採点結果に基づいて事業計画部長・大会実行委員長（代行）からなる選考委員会で審議を行い、最終的に学会長の承認を得て受賞者を決定した。事前審査と当日審査の審査方法は次の通りである。

(口頭部門)

各セッションの座長と9名の審査員により審査を行った。事前審査は、「研究内容」「研究レベル」「原稿の完成度」、当日審査は、「発表状況」(研究内容への理解度(貢献度)の高さや、発表のわかりやすさ、質疑応答がきちんとできることなど)について5段階で採点した。また総合的な評価として、表彰に値する発表、表彰に値しないと評価される発表がある場合は、記入できるようにした。候補者1名あたり3名の審査員により審査し、その合計点で評価した。審査対象の発表の関係者が審査員とならないように配慮した。

(ポスター部門)

審査は、6名の審査員により行った。事前審査は、「研究内容」「研究レベル」「原稿の完成度」、当日審査は、ポスター発表コアタイムにおける「研究の内容」「ポスターの出来栄」「発表状況」について5段階で採点した。表彰に値する発表、表彰に値しないと評価される発表がある場合は、記入できるようにした。口頭部門同様、1候補者3名の審査員で審査し、その合計点で評価した。また、関係者が審査員とならないように配慮した。

■審査員(敬称略)

(口頭部門)

各発表セッション座長

西井稜子、岩佐卓実、大村泰、加来哲也、小林豊、紺野道昭、佐藤剛、佐藤威臣、土志田正二

(ポスター部門)

上野雄一、福元豊、井上宏、相楽渉、茂木俊、宇次原雅之

*学会誌投稿優遇措置

受賞者が筆頭著者として、受賞した発表に関連する内容の論文を地すべり学会誌に投稿・掲載をする場合の投稿料について、受賞から3年間は免除するものとする(期間は、受賞者発表日および編集委員会での原稿受付日を対象とする。発表様式は問わない。ただし、カラー印刷料、超過頁料金は免除対象に含まない)。これを機にぜひ成果の論文投稿をお願いいたします。

以上